

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【公表番号】特表 2007-506488 (P2007-506488A)
 【公表日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-011
 【出願番号】特願 2006-527256 (P2006-527256)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 37/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

A 6 1 H 23/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 37/00

A 6 1 F 13/00 3 5 5 J

A 6 1 F 13/00 3 5 5 Z

A 6 1 H 23/02 3 8 6

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 5 日 (2007.9.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

人体の皮膚内に、美容上の活性成分を送り込むための方法であって、物質および / または活性成分に前記皮膚を接触させ、圧縮要素を貼付し、

前記圧縮要素が前記皮膚に接している間に、振動する支持体 (5) 上に前記人体を配置することにより、前記皮膚に結合された組織を振動させることを特徴とする、方法。

【請求項 2】

前記圧縮要素が、圧縮ラップおよび / または圧縮包帯により形成されることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記圧縮要素の周囲にフィルムが貼付されることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記組織が振動するようにさらに励振されること、および筋肉の収縮活動が電気刺激によって生じることを特徴とする、請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 つに記載の方法。

【請求項 5】

人体の組織内に、潤いを与える物質および / または美容上の活性成分を送り込むための装置であって、人の皮膚上に圧縮力をかけるように作動可能である少なくとも 1 つの圧縮要素 (2.1 - 2.5, 3.1 - 3.4, 4) を含み、

人の組織を振動させるための手段を備えた振動励起機器により特徴付けられ、前記振動励起機器は、電氣的に駆動される駆動手段を有する支持体 (5) を含み、前記駆動手段は、作動時に前記支持体を励振させ、駆動手段および支持体は、人体が上に配置され得るように設計される、装置。

【請求項 6】

前記振動励起機器の作動時に人が前記支持体上に立ち得ることを特徴とする、請求項 5

に記載の装置。